

令和7年度

横芝光町決算審査意見書

病 院 事 業 会 計

横芝光町監査委員

横 監 第 1 3 号
令和 8 年 8 月 2 5 日

横芝光町長 佐藤 晴彦 様

横芝光町監査委員 大木 薫

横芝光町監査委員 鈴木 克征

令和 7 年度横芝光町病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された令和 7 年度横芝光町病院事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める書類を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

決 算 審 査 意 見

第 1 審査の対象

令和 7 年度 横芝光町病院事業会計決算

第 2 審査の期間

令和 8 年 8 月 2 0 日

第 3 審査の手続き

決算審査に当たっては、決算報告書、事業報告書及びその他関係書類について、決算の計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的に行われているか、また、財務に関する事務は公営企業法等の関係法令に準拠して作成され、かつ、事業の経営成績や財務状態が適正に表示されているかなどの諸点に留意し、関係帳簿その他証拠書類を照合精査するとともに関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第 4 審査の結果

審査に付された事業会計決算報告書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、事業の運営は、地方公営企業の原則に留意して適性に行われ、予算の執行もおおむね所期の目的に沿って執行されたものと認められた。

なお、決算の概要及び審査意見は別途記載のとおりである。

第5 決算の概要

1 業務実績

区 分			7年度	6年度	比較増減
病 床 数			95 床	95 床	0 床
	一 般		55 床	55 床	0 床
	医療療養		40 床	40 床	0 床
年 間 延 病 床 数			34,675 床	34,675 床	0 床
	一 般		20,075 床	20,075 床	0 床
	医療療養		14,600 床	14,600 床	0 床
診療日数		入 院	365 日	365 日	0 日
		外 来	242 日	243 日	△ 1 日
延 患 者 数	入 院	年 間	17,175 人	21,397 人	△ 4,222 人
		1 日 平均	47.1 人	58.7 人	△ 11.6 人
	一 般	年 間	6,775 人	9,330 人	△ 2,555 人
		1 日 平均	18.6 人	25.6 人	△ 7.0 人
	医療療養	年 間	10,400 人	12,067 人	△ 1,667 人
		1 日 平均	28.5 人	33.1 人	△ 4.6 人
	外 来	年 間	34,206 人	35,404 人	△ 1,198 人
		1 日 平均	141.3 人	145.7 人	△ 4.4 人
入院・外来延患者数		53,864 人	59,131 人	△ 5,267 人	
病 床 利 用 率			49.5 %	61.7 %	△ 12.2 ポイント
	一 般		33.7 %	46.5 %	△ 12.8 ポイント
	医療療養		71.2 %	82.7 %	△ 11.5 ポイント
患者1人1日 当たり診療収入	入 院	31,118 円	28,885 円	2,233 円	
	外 来	8,396 円	8,325 円	71 円	
医 業 収 益		903,996 千円	1,003,386 千円	△ 99,390 千円	
医 業 費 用		1,621,193 千円	1,567,117 千円	54,076 千円	
収 支 差 額		△ 717,197 千円	△ 563,731 千円	△ 153,466 千円	

※ 1 日平均の外来患者数は、各診療科目の診察日数で算出された 1 日平均の患者数の積算である。

※金額は、消費税及び地方消費税を含んだ数値である。

本年度の年間入院患者数は 17,175 人（1 日平均 47.1 人）で、前年度と比べ 4,222 人（1 日平均 11.6 人）の減少である。また、年間外来延べ患者数は 34,206 人（1 日平均 141.3 人）で、前年度と比べ 1,198 人（1 日平均 4.4 人）の減少であり、病床利用率は 49.5%で、前年度と比較して 12.2 ポイントの減少である。

患者 1 人当たりの診療収入は、入院で 31,118 円（対前年度比 7.7%増）、外来で 8,396 円（対前年度比 0.9%増）である。

2 決算状況

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
	千円	千円	千円	%	%
病院事業収益	1,878,277	1,567,848	△ 310,429	83.5	88.5
医業収益	1,244,298	903,996	△ 340,302	72.7	82.6
訪問看護 ステーション収益	23,887	21,828	△ 2,059	91.4	88.8
医業外収益	610,090	614,509	4,419	100.7	100.8
特別利益	2	27,515	27,513	1,375,750.0	354,900.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業収益は、予算現額 1,878,277 千円に対し、決算額は 1,567,848 千円（うち仮受消費税額 5,099 千円）である。予算現額に対する収入率は 83.5%である。

(収益的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
病院事業費用	1,812,023	1,689,686	122,337	93.2	93.1
医業費用	1,735,120	1,621,194	113,926	93.4	93.2
訪問看護 ステーション費用	37,333	35,765	1,568	95.8	95.1
医業外費用	38,568	32,722	5,846	84.8	87.6
特別損失	2	5	△ 3	250.0	0.0
予備費	1,000	0	1,000	0.0	0.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業費用は、予算現額 1,812,023 千円に対し、決算額は 1,689,686 千円（うち仮払消費税額 33,087 千円）である。

予算現額に対する執行率は 93.2%で、不用額は 122,337 千円である。

支出の主なものは、医業費用の給与費である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
	千円	千円	千円	%	%
資本的収入	96,772	96,570	△ 202	99.7	35.6
企業債	65,900	65,700	△ 200	99.6	0.0
出資金	30,870	30,870	0	100.0	100.0
補助金	2	0	△ 2	0.0	77.7

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的収入は、予算現額 96,772 千円に対し、決算額は 96,570 千円である。予算現額に対する収入率は 99.7%である。

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
資本的支出	137,100	136,066	1,034	99.2	54.4
建設改良費	81,244	80,210	1,034	98.7	29.1
企業債償還金	55,856	55,856	0	100.0	100.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的支出は、予算現額 137,100 千円に対し、決算額は 136,066 千円である。

予算現額に対する執行率は 99.2%で、不用額は 1,034 千円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 39,496 千円は、過年度分損益勘定留保資金から補填している。

3 経営状況

(1) 収支

(総収益・総費用)

区 分	病院事業収益（総収益）		病院事業費用（総費用）		差引額 （純利益）	総収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
7年度	1,562,749	100.5	1,685,266	103.3	△ 122,517	92.7
6年度	1,555,349	96.3	1,632,175	96.7	△ 76,826	95.3

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

本年度の病院事業収益（総収益）は 1,562,749 千円、病院事業費用（総費用）は 1,685,266 千円で、本年度決算における純利益は△122,517 千円である。昨年度と比較して赤字額が増加した主な理由は、入院患者の減に伴う医業収益の減に加え、人件費高騰に医業費用の増によるものである。

(医業収益・医業費用)

区 分	医業収益		医業費用		差引額 （医業利益）	医業収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
7年度	900,070	90.1	1,588,525	103.5	△ 688,455	56.7
6年度	998,649	94.2	1,534,240	96.9	△ 535,591	65.1

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

医業収益から医業費用を引くと、本年度の医業利益は△688,455 千円である。その損失を補填するため、他会計負担金などの医業外収益でこれを補ったものである。

なお、医業活動の成果を示す医業収支比率は56.7%で、前年度と比較して8.4ポイントの減少である。

(2) 収益

(事業収益)

科 目	7年度		6年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業収益	1,562,749	100.0	1,555,349	100.0	7,400	0.5
1 医業収益	900,070	57.6	998,649	64.1	△ 98,579	△ 9.9
2 訪問看護 ステーション収益	21,800	1.4	21,271	1.4	529	2.5
3 医業外収益	613,365	39.2	528,331	34.0	85,034	16.1
4 特別利益	27,514	1.8	7,098	0.5	20,416	287.6

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業収益は1,562,749千円で、前年度と比較して7,400千円(0.5%)の増加である。これを科目別にみると、医業収益は900,070千円で、前年度と比較して98,579千円(9.9%)の減少である。主な理由は、入院収益で前年度と比較して83,596千円(13.5%)の減少、その他医業収益で前年度と比較して7,558千円(9.0%)の減少によるものである。

訪問看護ステーションの収益は21,800千円で、前年度と比較して529千円(2.5%)の増加である。

医業外収益は613,365千円で、前年度と比較し85,034千円(16.1%)の増加である。主な理由は、町一般会計からの繰入金が昨年度と比較して増となったことによるものである。

(3) 費用

(事業費用)

科 目	7年度		6年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業費用	1,685,266	100.0	1,632,175	100.0	53,091	3.3
1 医業費用	1,588,525	94.3	1,534,240	94.0	54,285	3.5
2 訪問看護 ステーション費用	35,561	2.1	35,206	2.2	355	1.0
3 医業外費用	61,176	3.6	62,729	3.8	△ 1,553	△ 2.5
4 特別損失	4	0.0	0	0.0	4	皆増

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業費用は1,685,266千円で、前年度と比較して53,091千円(3.3%)の増加である。

医業費用は1,588,525千円で、前年度と比較して54,285千円(3.5%)の増加である。主な理由は、給与費の増加によるものである。

訪問看護ステーション費用は35,561千円で、前年度と比較して355千円(1.0%)の増加である。

医業外費用は61,176千円で、前年度と比較して1,553千円(2.5%)の減少である。
主な理由は、医師・看護師等養成費が減少したことによるものである。

4 財政状態

(1) 資産の部

科 目	7年度		6年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定資産	2,369,045	94.1	2,460,965	92.1	△ 91,920	△ 3.7
2 流動資産	147,404	5.9	212,386	7.9	△ 64,982	△ 30.6
3 繰延勘定	—	—	—	—	—	—
資産合計	2,516,449	100.0	2,673,351	100.0	△ 156,902	△ 5.9

資産合計は2,516,449千円で前年度と比較して156,902千円(5.9%)の減少である。

(2) 負債資本の部

科 目	7年度		6年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定負債	153,132	6.1	143,958	5.4	9,174	6.4
2 流動負債	156,243	6.2	135,226	5.1	21,017	15.5
3 繰延収益	904,455	36.0	969,031	36.2	△ 64,576	△ 6.7
負債合計	1,213,830	48.3	1,248,215	46.7	△ 34,385	△ 2.8
4 資本金	2,895,051	115.0	2,895,051	108.3	0	0.0
5 剰余金	△ 1,592,431	△ 63.3	△ 1,469,915	△ 55.0	△ 122,516	8.3
資本合計	1,302,620	51.7	1,425,136	53.3	△ 122,516	△ 8.6
負債資産合計	2,516,450	100.0	2,673,351	100.0	△ 156,901	△ 5.9

ア 負債の部

本年度の負債合計は1,213,830千円で、前年度と比較し34,385千円(2.8%)の減少である。

イ 資本の部

本年度の資本合計は1,302,620千円で、前年度と比較して122,516千円(8.6%)の減少である。

(3) 財務比率

財政比率の推移

区 分	算 式	7年度	6年度	5年度
自己資本 構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本（負債} + \text{資本）}} \times 100$	% 87.7	% 89.6	% 88.3
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	100.4	97.0	95.4
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	142.6	267.6	267.4

自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示すものであり、この割合が大きいほど経営の安全性が高く、50%以上が望ましいとされる。本年度は87.7%となっている。

固定資産対長期資本比率は、長期の安全性を示すもので、この割合は100%以下が望ましいとされており、本年度は100.4%となっている。

流動比率は、短期債務に対する支払能力・運転資金の状況を示すもので、企業の経営上からは少なくとも流動負債に見合う流動資産があることが必要であり、200%以上が理想とされている。本年度は142.6%となっている。

むすび

令和7年度の入院の延べ患者数は17,175人（1日平均47.1人）で、前年度と比較して4,222人（1日平均11.6人）減少している。病床利用率は、一般病床が33.7%（前年度比12.8ポイント減少）、療養病床が71.2%（前年度比11.5ポイント減少）となっている。

また、外来延べ患者数は34,206人（1日平均141.3人）で、前年度と比較して1,198人（1日平均4.4人）減少している。

経営状況について消費税を除いた損益計算書でみると、収益では、収益の大宗を占める医業収益が前年度と比較して9.9%減少しているが、医業外収益は16.1%増加している。収益総額は7,400千円（0.5%）増加の1,562,749千円となっている。一方、費用は、前年度と比較して医業費用は3.5%増加しているが、医業外費用は2.5%減少している。費用総額は53,091千円（3.3%）増加の1,685,266千円で、総体的な収支は122,517千円の赤字である。なお、医業収支は、688,455千円の赤字であり、前年度と比較して152,864千円の増額赤字である。

全国でも千葉県は医師・看護師不足が深刻化しており、中でも医療過疎とされる当地域の慢性的な医師・看護師不足に加え、物価や人件費高騰の影響もあり、診療の縮小や休止を余儀なくされるなど、病院経営はより一層厳しさを増している中、当病院においても、人口減少の影響により、入院・外来ともに患者数が減少傾向にあることから、早急な対応が求められ、また、一般会計からの繰入も多額であることから、繰入金縮減に向けてなお一層の取り組みが必要である。

医師、看護師等の不足・人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等、自治体病院を取り巻く環境は非常に厳しいところであるが、令和5年度に策定した東陽病院経営強化プランで設定した経営指標に係る数値目標の達成を目指し、地域医療を担う拠点として持続可能な経営を確保するよう経営改善に努められたい。